

【8月の保育目標】

- 夏の遊びを楽しみながら園生活のリズムを取り戻す。(金魚すくい・しゃぼん玉・・・)
- 畑の作物の収穫を楽しむ。(ミニトマト・きゅうり・枝豆等)



8月の園行事

月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31
二学期始業式 11:30 帰り	給食開始 13:50 帰り			誕生会 (8月)	預かり保育

【9月の保育目標】

- 季節の移り変わりに気づき、秋の草花や虫の観察をする。
- 戸外で体を十分に動かし、友達と一緒にルールのあるゲームや集団遊びを楽しむ。



9月の園行事

月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7
	防災避難訓練	体操教室 (年中組)	びよちゃんクラブ 英語教室 (年長組)		預かり保育
9	10	11	12	13	14
		縁日ごっこ	縁日ごっこ 祖父母ふれあい ディ		休園
16	17	18	19	20	21
敬老の日 (休園)		体操教室 (年長組)	びよちゃんクラブ 英語教室 (年中組)	秋の遠足 (園児のみ) 預かり保育なし	預かり保育
23	24	25	26	27	28
振替休日		個人写真撮影 (年長組)		交通安全教室 (八戸公園) 誕生会 (9月・10月)	休園
30	= 秋の遠足について (園児のみ) = 今年の秋の遠足は、9月20日(金)です。(詳細は後日お知らせします。)				

長い夏休みを終えて、今日から2学期が始まりました。子どもたちやご家族の皆様方はいかがお過ごしでしたでしょうか。

思い起こせば夕涼み会の頃、パリオリンピックが始まり、文字どおり、暑い、熱い夏となりました。また、お盆の頃には台風が珍しく東北地方を横断し、夏休みの予定を変更されたご家族もあったかもしれません。それぞれの夏の思い出を胸に子どもたちは心もからだもひとまわり大きくなって登園したと思います。

さて、みどり幼稚園の4つの教育目標のひとつに“思いやりのあるやさしい子”という目標があります。「どうしたら思いやりのあるやさしい子に育つのでしょうか。」という問いに児童精神科医の佐々木正美氏は「まず、子どもたちのなかに思いやりの心が育てられるためには、思いやりのある人に出会わなければならないのです。また、子どもたちが十分に思いやりを受けてこなければ子どものなかに思いやりの心は育てられないと思います。」と答えています。

まわりの人に、感謝や尊敬する気持ちが思いやりを育てる

さらに思いやりの起源として感謝することを上げ、人に感謝する心、人を尊敬する心を忘れずにまわりのおとなたちがお手本となって子どもたちに接していかなければ思いやりの感情は育ちようがないとも述べられています。まわりの人たちを大切にする生き方を身につける。今さらながらに人生の土台は幼児期から培われることを思わずにはられません。友達どうし励まし合い、尊敬(子どもたちであれば、あこがれたり、すごいなあと思う気持ち)しあう気持ちを大切に育てていきたいと思えます。

ジャガイモ、大豊作!

春に年中・年長組で植えたジャガイモが今年は生育が早く一学期に収穫しました。数えたら四百数十個もあったそうです。みどり幼稚園カレーライスの日が楽しみです。



夕涼み会ありがとうございました

雨降りの夕涼み会となりましたが、夏の夜の遊びを楽しみにしてきた子どもたちの笑顔がとてもかわいらしかったです。準備をしてくださった父母の会の皆様ありがとうございました。

カーテン取り付けました

八戸市による教育備品購入補助金により、各保育室にクリーム色の日よけカーテンが一学期末に取り付けられました。子どもたちは、「お部屋がオシャレになったね。」と言っています。

令和5年度 自己評価報告書

令和6年4月5日
学校法人正栄学園 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	特別な支援を必要とする子どものための園内の支援体制	B	保護者や施設関係者と面談や見学を通して子どもについての情報交換を行うことができた。 個別の支援計画を作成して園内での共通理解はできたが、どんな関わりが有効であったかなど具体的な話し合いも今後は必要となってくると考える。
2	教育の質のための研修の充実を図る	A	自ら研修したいことを積極的に学び、日々の保育に生かそうとする姿勢があった。園内研修は外部研修の報告が主だったため、お互いに意見を出し合える研修となるよう工夫していきたい。
3	子どもの主体性を伸ばす保育を目指す	B	運動会、音楽会の環境（会場）の変化にともなって行事の内容等工夫して行うことができた。 今後は子どもたちの主体性をより伸ばしていくという視点で遊びや行事の持ち方の環境作りを工夫していきたい。

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目はそれぞれ具体的な方法で取り組み成果が認められた。また、新たな課題も見いだし、全体として次のステップへ進もうとする意見もあった。行事等については工夫して行うことができた。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研修の充実	特別な支援の必要な子どもたちについての話し合いも含め、短時間でも教員が意見交換し研修できる工夫をする。
2	主体的な遊びの環境を工夫する	自由遊びの時間など、子どもたちの遊びがより主体的に発展していくものとなるよう環境の設定を工夫する
3	からだを動かす遊びの工夫	意図的にからだを動かす時間を作り、体幹を鍛えるように正しい姿勢を保てるようにする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1) 特別な支援の必要なお子さんへの配慮は園で十分研修し受け入れ体制を整えていると思われる。支援の必要なお子さんの保護者への関わりについても、今後は大事になっていくのかと思う。
- (2) 園での子ども様子を知りたくなる親の気持ちはよく理解できるので、園バス利用のため、あまり園に来ることのない保護者に対しては、特に連絡帳などを通して子どもの様子を伝えてもらえると安心できるのではないかと思う。
- (3) コロナ禍で途切れていた行事も行えるようになり、行事を通して子どもたちや父母との交流がもてるようになってきている。

令和5年度の教育や運営に対する保護者アンケートのまとめ

令和6年3月8日

みどり幼稚園

幼稚園評価アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。集計の結果が
出ましたのでお知らせします。全保護者のべ38名の皆様からご回答いただくことができ
ましたこと感謝申し上げます。今回のアンケートの集計は自分率ではなく実数そのものを
表示しました。A（そう思う）B（そう思うことが多い）の合計が38名の項目は ,
A、B合わせて34名以上は◎、30名以上を○として表示しております。

○ 昨年と同じ  は8、9、16、18、23の項目です。

○ 新たについた  は3、4、5、10、22の項目です。

○ 14項目の身近な人へのあいさつは昨年より下がり△となりました。家族内ではよくあいさつがさ
れているようですので身近な人たちにも少しずつ言えるように見守りたいと思います。

○ また、少数ではありますが、C、Dの評価も大事な評価ととらえて真摯に向き合ってまいりたいと
思います。

在籍者数 38名

回答者数 38名

(人)

	評価項目	A	B	C	D	
1	子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている	28	7	3	0	◎
2	子どもは安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる	28	9	1	0	◎
3	友達と一緒に遊んだり友達の遊びに刺激を受けたりして、共に過ごすことの 楽しさを味わっている	33	5	0	0	
4	遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度が育ってきている	25	13	0	0	
5	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育って きている	30	8	0	0	
6	自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、幼稚園生活を楽んでいる	28	9	1	0	◎
7	子どもは遊びの楽しさを味わい、自信をもって行動できるようになってきた	24	12	2	0	◎
8	集団の中で、話をよく聞いたり、考えたり、互いに力を生かし合いながら、共 に学び合う様子が見られた(年長組のみ)	7	2	0	0	
9	自分の力で考えたり工夫しながら、あきらめずにやり遂げる達成感を味わって いる(年長組のみ)	6	3	0	0	
10	学級の中で幼児一人一人が大切にされている	31	7	0	0	
11	人に対する信頼感や思いやりの気持ち、自己抑制力などが育ってきている	19	15	4	0	◎
12	自分でできることは自分でしようとしている	21	13	4	0	◎
13	子どもは家族に、よくあいさつをしている	19	17	2	0	◎
14	子どもは身近な人や、教職員によくあいさつをしている。	14	11	11	2	△
15	子どもはしっかり体を動かし、体力が向上したり、たくましが育ったりして きている	24	11	1	2	◎
16	経験したことや考えたことなどを言葉で伝えて楽しんでいる	27	11	0	0	
17	生命を尊重する心や自然を大切にすることが育つような取り組みがされていた	24	13	0	1	◎
18	幼稚園は、地震・津波・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる	34	4	0	0	
19	幼稚園は一人一人の幼児の育ちを保護者に伝えている	26	11	0	1	◎
20	幼稚園は保護者が様々な幼児と関わる機会をつくり、幼児の発達などに気づく 機会をつくっている	30	7	0	1	◎
21	幼稚園は、保護者からの相談などに対して誠実に対応している	33	4	0	1	◎
22	教育方針や教育目標は、幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思う	30	8	0	0	
23	幼稚園は教育目標や月ごとの活動について園便りやクラス便りで分かりやすく 伝えている	35	3	0	0	